

# 外環（千葉県区間）先行整備区間の進捗状況について（10月末）お知らせ

外環（千葉県区間）では、1日も早い市内の交通環境の改善に繋げるため、効果を発揮すると見込まれる区間の外環の国道部（国道298号）や環境施設帯（外環の両側に整備される植樹帯、生活道路となる副道、自転車歩行者道）を区間1～区間3に分け、高速道路より先行して整備を進めています。

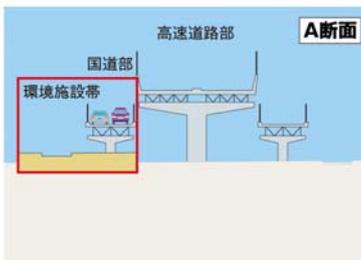
※高速道路部を含めた全線開通については、平成27年度を目標に整備を進めます。

## 先行整備全体の状況

それぞれ以下の区間です。



### 区間1の整備イメージ



〈区 間〉  
国道6号～(主)市川松戸線  
〈整備の内容〉  
国道部(国道298号)の2車線を整備  
環境施設帯(植樹帯、副道、自転車歩行者道)を整備

平成20年3月22日開通

#### 区間1が開通すると

- ① 埼玉方面へのアクセスが向上します。
- ② 通学路の安全性が向上します。
- ③ 松戸草加線の混雑が緩和します。
- ④ 国道6号横断が円滑になります。

### 区間3の整備イメージ



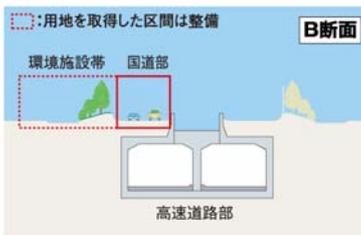
〈区 間〉  
(主)市川松戸線～  
(県)高塚新田市川線  
〈整備の内容〉  
環境施設帯(植樹帯、副道、自転車歩行者道)をできる限り整備

〈開通目標〉平成22年度まで逐次

#### 区間3が開通すると

- ① 生活道路として機能します。
- ② 通学路の安全性が向上します。
- ③ 道路の防災機能が高まります。

### 区間2の整備イメージ



〈区 間〉  
国道357号～(主)市川浦安線  
〈整備の内容〉  
国道部(国道298号)の2車線を整備  
環境施設帯(植樹帯、副道、自転車歩行者道)をできる限り整備

平成21年8月8日開通

#### 区間2が開通すると

- ① 平行する道路の交通渋滞が緩和します。
- ② 南北の道路軸が形成されます。
- ③ 生活道路へのクルマの流入が減少します。
- ④ 湾岸方向へのアクセスが向上します。
- ⑤ 市川IC付近の交通量が増加します。

※外環の緑線部は未開通区間(高速道路部および国道部)

## 先行整備区間3進捗状況

先行整備区間3（県道市川松戸線～県道高塚新田市川線間、約3.2km）のうち、市川市国分地区のバス通り周辺の外環事業用地（約1.2km）で整備を進めています。

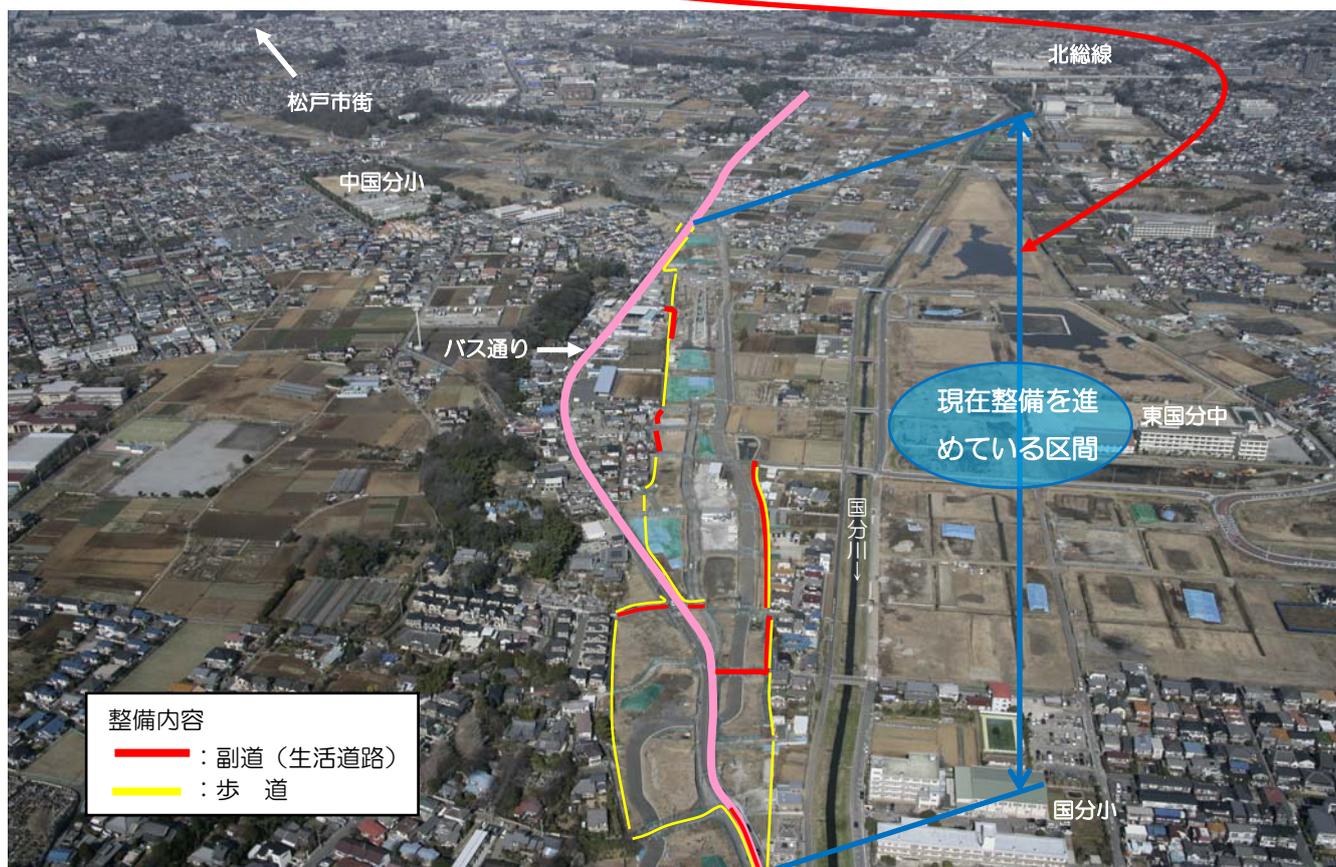
市川市国分地区では、副道（生活道路）と歩道の整備を進めています。工事の進捗等により開通時期が決まりましたらお知らせいたします。



H21.10 撮影



H21.10 撮影



H21.2 撮影